

月食タイル

何時でも、タイル山の一番上に来た場合は、即座に効果を適用する。

	各プレイヤーは自分の手札からカード1枚を選び、矢印の方向に従い、左隣または右隣のプレイヤーに手渡す。それから、このタイルを捨て札とする。
---	---

遺物タイル

目的地と一致するカードの中で最も小さい数字を出したプレイヤーが遺物タイル1枚を取る（公開されている2枚のうち1枚か、または山札の上から）。

	門：（自分の前に置いておく） 何時でも、このタイルを捨て札にしてトラック上のシャドウ・コマを1スペース進めるか戻す。
	真実の仮面： 山札からこのタイルを引いた場合でも、ただちに自分の役割カードを公開しなければならない。
	儀式用短剣：（自分の前に置いておく） 《無力化の儀式》を実行する際、このタイルを捨て札として、ラウンド終了までの間、他プレイヤー1人を脱落させることができる。
	月のかけら：（自分の前に置いておく） ラウンド終了時、このタイル2枚以上を持ち、かつ脱落していなければ2勝利ポイントを得る。

儀式

目的地と一致するカードの中で最も大きい数字を出したプレイヤーがプレイされたカードを全て、ワールドのスペースに合わせてボード外側に（ズラして数字が見えるよう）配置。とあるワールドのカードが全て配置されたら、即座に対応する儀式を**実行せねばならない**。

	安定化の儀式： トラック上のシャドウ・コマを2スペース戻すか、または、遺物タイル1枚を取る（公開されている2枚のうち1枚か、または山札の上から）。
	再配列の儀式： 自分と脱落していない他プレイヤー1人の役割カードを交換する。両方のプレイヤーはただちに自分の新しい役割カードを見て良い。
	光輝の儀式： 1勝利ポイントを得る。
	無力化の儀式： 自分の前に置いている遺物タイル《儀式用短剣》を捨て札として、ラウンド終了までの間、他プレイヤー1人を脱落させる。もし《儀式用短剣》を裏向きで置いており、かつ公開しなければ、この儀式の効果は発生しない。

※ 目的地と一致するカードを出したのが1人だけの場合、そのプレイヤーが「最も小さい数字」と「最も大きい数字」を両方とも出したものとして扱う。